

ボーリング柱状図

調査名

事業・工事名

ボーリングNO.

シートNO.

ボーリング名	No.4	調査位置					北緯	36° 29' 28.6900"			
発注機関	栃木県宇都宮土木事務所				調査期間	2008-10-07 ~ 2008-10-14		東経	139° 52' 44.5810"		
調査業者名	主任技師				現場代理人	コ	ア	ボーリング責任者			
孔口標高	83.15 m	角度		方向		地盤勾配		使用機種	試錐機		
総掘進長	6.45 m							ハンマー	ポンプ		

標尺	標高	層厚	深度	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) 測定月日	標準貫入試験					原位置試験 深度 (m)	試験名 および結果	試験 深度 (m)	試料 番号	採取 方法	室内 試験	掘進 月日	
												深度 (m)	10cmごとの 打撃回数			貫入量 (cm)								N 値
													0	10	20									
	(m)	(m)	(m)	(m)								(m)	0	10	20	30								
1	82.75	0.40	0.40		シルト	黒褐			上部有機物、未腐植根混じる 含水大、軟質で、下部砂分混じる	10/08 0.35 10/07 1.00 10/09 1.00	1.00													
	81.75	1.00	1.40		粘土	黒褐		軟らかい	含水大、粘性大、軟らかい 1m掘削時水位-0.75mに確認 -1.1m下部粘性少なく、繊維質腐植 物増す		1.45	0			0	45								
2	81.15	0.60	2.00		礫混り砂	灰褐			粘土混じり細砂主体、 φ10～20mm円礫まばらに混じる、 緩い相対密度		2.15					22								
					砂礫			中ぐらい	φ10～30mm歪円・亜角礫主体、 φ50～70mm礫間充填物は細・粗 砂、含水多く崩壊性大 2.0m掘削時-0.35mに水位上昇あり φ50～70mm		2.45	7	7	8		30								
3						灰茶褐					3.15					29								
											3.45	11	9	9		30								
4											4.15					44								10/08
	78.35	2.80	4.80		粘土混り砂	茶褐		緩い	細砂・中砂主体、含水多い 粘土分を多量含むか又10cm程度の 層理状に介在する		4.45	18	13	13		30								
5	77.55	0.80	5.60		砂礫	茶褐		密な	φ15～40mmの歪円礫主体、マト リックスは細・粗砂、 風化礫やや多く混じる、含水多い		5.15					9								
					砂礫	茶褐					5.45	1	3	5		30								
6	76.70	0.85	6.45		砂礫						6.15					49								10/09
											6.45	15	22	12		30								